



埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2024年 秋号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所

桶川市上日出谷42-73

TEL.048(780)2982

FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会9月定例会報告

補正予算

【第1号】約50億1千万円

【第2号】約37億8千万円等を議決

県議会9月定例会は9月25日から10月16日までの日程で開催され、一般会計補正予算【第1号】50億1,156万2千円、補正予算【第2号】37億7,531万7千円、さらに、私たち自民党議員団が提案した「県こども・若者基本条例」等を議決しました。

補正予算【第1号】は、県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実や新生児マススクリーニング検査の対象拡大のための予算措置、公共事業の追加・適正工期の確保など、当面对応すべき事業等が盛り込まれました。補正予算【第2号】は衆議院議員総選挙等に伴う経費で、その財源は全額国庫支出金となります。



皆様からのご意見を参考に審議を重ね提案

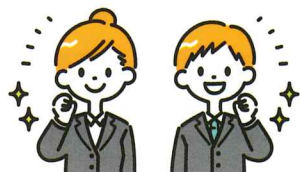
埼玉県こども・若者基本条例

「県こども・若者基本条例」は、子ども政策に子どもたちの意見が反映される仕組みづくりや、子どもたちから意見を引き出す人材の育成・確保に取り組むことを掲げています。また「①子どもらが有する権利を保障する。②子どもらの最善の利益を優先する。③保護者が子育てに希望を感じ、幸せに過ごすことができる環境を整備する。④社会全体で子育てを支える。」ことを基本理念として県の

責務を明記。国や市町村との役割分担を踏まえながら、子育て支援などの施策を総合的、計画的に進めるよう求めるとともに、県民や学校、民間支援団体などに対しては、施策への協力を働きかける内容となっています。

施行は令和6年10月18日からです。

※埼玉県こども・若者基本条例の全文はこちらからご参照ください。➡



通学支援の充実による医療的ケア児の保護者の経済的負担の軽減……………7,153万3千円

概要

医療的ケア児の福祉タクシー等による通学に同乗する看護師費用の支援に要する経費を増額する

事業イメージ

登校時の場合



効果

医療的ケア児の保護者負担の軽減

新生児マススクリーニング検査に関する実証……………1億4,138万5千円

概要（国の実証事業への参加）

*さいたま市を除く県内すべての分娩取扱機関で出生した新生児

2疾患を追加した検査の対象を**全新生児***に拡大する

➢対象疾患

重症複合免疫不全症(SCID)

出生直後から重篤な感染症を繰り返す疾患

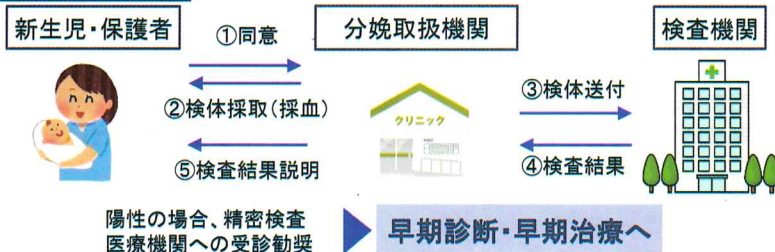
脊髄性筋萎縮症(SMA)

筋力低下、歩行障害等をきたす遺伝子疾患

➢実施機関数 25 ⇒ 86機関 (さいたま市を除く県内分娩取扱機関)



検査体制



地域の声を県政に届けるため日々全力です！

活動

大野病院入口交差点に右折信号機が設置されました。

県道川越栗橋線の大野病院入口交差点(桶川市坂田地内)に9月10日、右折信号機が設置されました。

市民の皆様からの要望も多く、毎年、桶川市と一体となって、埼玉県に働きかけてまいりましたが、ようやく実現いたしました。ご要望をいただいた皆様、ありがとうございました。



江川改修促進協議会総会に出席

令和6年度江川改修促進協議会総会(会長:小野克典市長)が7月26日、桶川市生涯学習センターにて、上尾・桶川・北本・鴻巣の江川流域

4市の市長・議長をはじめ、大島あつし代議士、中根一幸代議士出席のもと開催されました。

今は上流部の調整池の整備が進められていますが、今年も全国各地で甚大な被害をもたらす風水害が多発しており、一日も早い完成を望んでいます。安心して暮らせる桶川市の実現に向け、今後も全力で働いてまいります。



江川の早期整備要望書を県に提出

江川改修促進協議会は8月9日、埼玉県に「江川の早期整備に関する要望書」を提出しました。

また8月29日には国土交通省関東地方整備局及び荒川上流河川事務所へも、江川の早期改修に向けた要望書を提出しました。



県への要望書提出には私も地元選出県議として参加し「一日も早い調整池の完成が望まれる」とご挨拶をさせていただきました。対応された県土整備部長からは「全力で取り組みます」との挨拶がありました。写真右は小野克典市長、左は県土整備部長。

荒川上流改修促進期成同盟会総会に出席

令和6年度荒川上流改修促進期成同盟会の総会が7月12日、熊谷文化創造館さくらめいと(熊谷市)で開催され出席しました。



令和元年の東日本台風では、桶川市内でも堤防が無い箇所からの越水被害が発生しており、早急に整備する必要があります。現在は宮下樋管の改築工事が予定され、令和6年度は、河道掘削のための工事用道路の整備が進められる予定です。

一日も早い整備実現に向け、今後も取り組んでまいります。

第二産業道路建設促進期成同盟会総会に出席

令和6年度第二産業道路建設促進期成同盟会の総会が8月19日、埼玉県県民健康センターで開催され出席しました。

総会では、埼玉県に対し第二産業道路整備を強力に推進することを求めることなどを決議したほか、埼玉県から事業概要についての説明が行われました。昨年11月23日には上尾環状線から上尾蓮田線(上尾駅前通り)までの900mが開通し、現在は上尾蓮田線から小敷谷吉田通線まで1,300mの予備設計を実施しているとのことでした。桶川まで早く工事が始まることを願っています。



同期成同盟会は総会終了後、埼玉県及び県議会への要望活動を行いました。

桶川ジャンボスイカコンテスト開催

第17回桶川ジャンボスイカコンテストが8月24日～25日、桶川べに花ふると館にて開催されました。

個人個人が秘策を練り、重さを競うコンテストですが、今年は岸孝夫氏が3度目の優勝(54.97kg)を果たしました。私も、なかなか受粉に苦労しましたが、21.13kgのスイカを育てることができ入賞することができました。



ジャンボスイカが知事・議長を表敬訪問

桶川ジャンボスイカコンテストで優勝した岸孝夫氏(54.97kg)と3位の岩崎正男氏(40.26kg)の素晴らしいジャンボスイカが8月29日、大野元裕知事及び齊藤邦明県議会議長を表敬訪問されました。

優勝した岸孝夫氏(54.97kg)のスイカは県庁第1庁舎1階ロビーに、3位の岩崎正男氏(40.26kg)のスイカは議会棟1階ロビーにそれぞれ展示されました。



県土都市整備委員会

県内被災地の治水対策の現状等を視察

県土都市整備委員会は9月5日、県内視察を行いました。

午前中は令和元年東日本台風(台風19号)で堤防が決壊した都幾川小剣樋管付近早俣地先(東松山市)と越辺川赤尾地先(坂戸市)を視察しました。治水事業について説明していただいた国土交通省荒川上流河川事務所では、多重防御治水の推進、減災に向けたさらなる取り組みの推進を柱として、「社会経済被害の最小化」を目指しているとのことでした。



午後からは新河岸水再生センター(東京都板橋区)を視察しました。同水再生センターでは、汚泥焼却で発生する排熱により発電し、焼却炉で使用



する電力を自給できるエネルギー自立型焼却炉により、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいるとの説明を伺いました。

▲新河岸水再生センターでは2023年から、さらに発電効率を高める「エネルギー供給型(カーボンマイナス)焼却炉」について民間事業者と共同研究を行い、研究開発目標をすべて達成し実用化事業として評価しているとのことでした。本県でも2023年から廃熱発電機能付き焼却炉の稼働を開始しています。最新の下水道施設の稼働、研究状況を見学でき、今後の施策の参考になりました。

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

障害者eスポーツの普及状況等をオンラインで視察

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会は7月17日、オンラインによる視察を初めて実施しました。

午前10時から、戸田市に本社を置く株式会社ePALA(イーパラ/加藤大貴代表者)による障害者eスポーツの普及について視察させて



いただきました。ePALAは年齢・性別・時間・場所・障害の有無を問わず参加できるeスポーツを「バリアフリーeスポーツ」と評し、様々なイベントの企画や運営、支援を行う事業を展開しています。モータースポーツ大会と連動した取り組みは、トヨタ・モビリティ基金が主催する「アイデアコンテスト」に採択され、またeスポーツ特化型ビジネスコンテストで優勝するなど、素晴らしい実績を残しており、今後の障害者スポーツのあり方についてたいへん参考になりました。

岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。